

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 消火器用消火薬剤 強化液(中性) 薬第 24~2 号
 整理番号 : WA-LSN-007(2)
 会社名 : 日本ドライケミカル株式会社
 住所 : 〒135-0091 東京都港区台場 2-3-1 トレードピアお台場
 担当部門 : 技術部 (TEL:03-3599-9505 Fax:03-5530-3584)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|-------|-------------------|----------------------------|
| 健康有害性 | 急性毒性(経口) | 区分 5 |
| | 皮膚腐食性/刺激性 | 区分 3 |
| | 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | 区分 2B |
| | 皮膚感作性 | 区分 1 |
| | 生殖毒性 | 区分 1B |
| | 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) | 区分 1 (中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器官) |
| | 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) | 区分 1 (中枢神経系、呼吸器官、心臓) |
| 環境有害性 | 水生環境有害性(急性) | 分類できない |
| | 水生環境有害性(慢性) | 分類できない |

物理化学的危険性、各項目について、分類できない、又は分類対象外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ

軽度の皮膚刺激

眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器 (中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器官) の障害

長期又は反復暴露による臓器 (中枢神経系、呼吸器官、心臓) の障害

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き :

予防策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全てに安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

対応

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

取り扱った後、手を洗うこと。

保管

使用温度範囲に保ち貯蔵すること。

貯蔵時はみだりに開缶しないこと。

内容物/容器等は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分:混合物

| 化学名または一般名 | 含有量(%) | 化学式 | 官報公示番号 | CAS No. |
|------------|--------|--|---------|----------|
| リン酸塩 | 10～15 | 企業秘密 | あり | あり |
| エチレングリコール | 20～25 | C ₂ H ₆ O ₂ | (2)-230 | 107-21-1 |
| フッ素系界面活性剤 | 0.5 | 企業秘密 | あり | あり |
| 炭化水素系界面活性剤 | 1～0.5 | 企業秘密 | あり | あり |

4. 応急措置

| | |
|------------------|---|
| 吸入した場合 | :直ちに新鮮な空気の場所に移動させ、安静にする。 |
| 皮膚に付着した場合 | :直ちに多量の水で洗い流し、痛み等の症状が出た場合必要に応じて医師の診断を受ける。 |
| 眼に入った場合 | :直ちにまぶたを開いて、清浄な流水で 15 分以上洗眼する。 必要に応じて医師の診断を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | :水で口の中を洗浄し多量の水を飲ませ、医師の診断を受ける。 被災者の意識がない場合、口から何も与えてはならない。 |
| 予想される急性症状及び遅発性症状 | :データなし。 |
| 最も重要な徴候及び症状 | :データなし。 |
| 応急措置するものの保護 | :データなし。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | :データなし。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|--------|
| 消火剤 | :非該当。 |
| 使ってはならない消火剤 | :非該当。 |
| 特有の危険有害性 | :特になし。 |
| 特有の消火方法 | :非該当。 |
| 消火を行う者の保護 | :非該当。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|------------|---|
| 人体に対する注意事項 | :直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区画とし隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。関係者は適切な保護区(「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 |
| 環境に対する注意事項 | :河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。リン、及び窒素含有の為、水質の富栄養化の原因となる。 |

回収、中和、封じ込め及び浄化方法・機材 :少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。また、危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策 :漏洩物は速やかに回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策及び注意事項 :「8. 暴露防止及び保護措置」の記載の措置を行い、必要に応じて保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
取扱い後は手洗いをする。

保管

保管条件 :密閉状態で、水、他の薬品と混合しない。

安全な容器保管材料 :推奨材料は、製品容器(該当する消火器及び薬剤缶)。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具 呼吸器の保護具 :呼吸器保護具(マスク)
手の保護具 :保護具(ゴム、ビニール等の材質のもの)
眼の保護具 :保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 :保護具、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

外観 :淡黄色透明液体
臭い :特有臭
pH :7.8(20℃)
融点・凝固点 :-20.5℃
沸点、初留点及び沸騰範囲 :データなし
引火点 :なし
爆発範囲 :データなし
蒸気圧 :データなし
蒸気密度(空気=1) :データなし
比重(相対密度) :1.12(20℃)
溶解性 :水に対し任意の割合で飽和する。
オクタノール/水分係数 :該当しない。
自然発火温度 :データなし
分解温度 :データなし
臭いの閾値 :データなし
蒸発速度 :データなし
燃焼性(固体、ガス) :該当しない
粘度(粘性率) :データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 :通常の取り扱い条件下では安定
反応性 :データなし
危険有害反応可能性 :通常の取扱い条件下では危険有害なし。
避けるべき条件 :直射日光を避け、冷暗所に保管する。
危険有害分解生成物 :データなし

混触危険物質 : データなし

11. 有害性情報

以下について、エチレングリコールの情報を活用

| | |
|-------------------|-------------------------|
| 急性毒性(経口) | : 区分 5 |
| 皮膚腐食性及び刺激性 | : 軽度の皮膚刺激(ウサギ) |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | : 中程度の刺激性(ウサギ) |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | : 分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | : 区分外 |
| 発がん性 | : 分類できない。 |
| 生殖毒性 | : 区分 1B |
| 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) | : 区分 1(中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器) |
| 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) | : 区分 1(中枢神経系、呼吸器、心臓) |
| 吸引性呼吸器有害 | : 分類できない。 |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|---|
| 生態毒性 | : COD _{Mn} 2.1×10 ⁵ mg/L 生物化学的酸素消費量 BOD 3.5×10 ⁵ mg/L |
| 残留性/分解性 | : データなし |
| 生態蓄積性 | : データなし |
| 土壤中の移動性 | : データなし |
| オゾン層への有害性 | : データなし |

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器・包装 : 関係法規並びに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

| | |
|---------|---|
| 国連番号 | : なし |
| 品名 | : なし |
| 国連分類 | : なし |
| 容器等級 | : なし |
| 海洋汚染物質 | : データなし |
| 特別の安全対策 | : なし |
| 国内規制 | : 陸上規制情報 消防法の規定に従う。 : 航空規制情報 航空法の規定に従う。 : 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。 |

15. 適用法令

自治省令第 28 号(昭和 39 年 9 月 17 日)自治省令第 7 号(昭和 62 年 3 月 18 日)
「消火器用消火薬剤の技術上の規格を定める省令」

| | |
|-------------------|---|
| 化審法 | :非該当 |
| 労働安全衛生法 | :施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物 エキレングリコール(政令番号 75) |
| 化学物質管理促進法(PRTR 法) | :非該当 |
| 航空法 | :非該当 |
| 船舶安全法 | :非該当 |

16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の実施を対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保障するものではありません。